

# MAT, Nagoya Studio Project vol. 7



2021.  
11.16 Tue.—  
12.25 Sat.



オノリナ  
(liTTLe sHAmAn)

古橋まどか  
山下拓也

Rina Ono  
(リトルシャーマン)

Madoka Furuhashi  
Takuya Yamashita



Minatomachi  
Art  
Table  
Nagoya  
**MAT.**  
Nagoya

港まちづくり協議会  
JOINT COMMITTEE OF PORT TOWN

Minatomachi  
**POTLUCK**  
BUILDING

[www.mat-nagoya.jp](http://www.mat-nagoya.jp)

Above: Photo | Takayuki Imai Photo courtesy | Assembridge NAGOYA Executive Committee  
Below: Photo | Tomoya Miura

# MAT, Nagoya Studio Project vol. 7

オノリナ Rina Ono  
(liTTLe sHAmAn) (リトルシャーマン)  
古橋まどか Madoka Furuhashi  
山下拓也 Takuya Yamashita

企画 | Minatomachi Art Table, Nagoya [MAT, Nagoya]  
主催 | 港まちづくり協議会  
協力 | アッセンブリッジ・ナゴヤ実行委員会

Minatomachi POTLUCK BUILDING 3F  
では、11月から12月までの約6週間、港まちエリアでアーティストやデザイナー、ミュージシャンなど表現者の制作・活動発表をサポートする「MAT, Nagoya・スタジオプロジェクト」を開催します。

名古屋港エリアでは、これまで空きスペースを活用したスタジオ事業や現代美術のギャラリー、アートプロジェクトの実施など、アートをはじめとした創造的な活動が行われてきた歴史があります。

MAT, Nagoyaは、その素地を受け継ぎ、創造性をもって活動する人びとを歓迎し、制作・実践の場をつくることで、創造的なアイデアをまちで活かすプログラムを行っています。

7回目となる今回、アーティスト3名が港まちに滞在します。それぞれの活動分野は異なりますが、表現媒体や手法を固定せず、さまざまな方法で表現活動を行っています。この期間の港まちでの滞在によって、新たな表現が生まれることを期待します。

会期中には、普段見ることのできない制作現場や滞在中に制作された作品などを公開するオープンスタジオなど、イベントの開催も予定しています。

オノリナ (liTTLe sHAmAn) /  
Rina Ono (リトルシャーマン)  
ニットアーティスト/パフォーマー



©liTTLe sHAmAn 2021

1994年愛知県生まれ、同地在住。  
2016年より、未完成の美をテーマに追求しながら固定概念にとらわれないニットのカタチを提案するブランド「liTTLe sHAmAn」をはじめ。洋服の製作を中心しつつ、身の回りのものを用いた電飾作品の制作や、屋外で自転車を毛糸によって編み込む「路上ニットパフォーマンス」、歌って踊るアミューズメントパフォーマンスユニット「White Hot Pants」の結成など、さまざまなアプローチで表現を行う。2019年ニットのリサーチで、ドイツ・ベルリン、ミュンヘンに滞在。  
主な展覧会に、個展「ラブレボリューション」(OFF THE RECORD、愛知、2021年)、個展「liTTLe sHAmAnのガムテープ展」(spazio rita、愛知、2018年)、二人展「I want you!!!!」(The Sessions、愛知、2017年)などがある。  
[www.instagram.com/little\\_shaman](http://www.instagram.com/little_shaman)

古橋まどか / Madoka Furuhashi

アーティスト



《El Nadir》(部分) 2019

\*DOMANI plus @愛知「まなざしのありか」では、古橋まどかが港まちでの滞在中に制作した新作の発表を予定しています。  
会期 | 2022年1月18日(火) - 3月12日(土) 会場 | 港まちポットラックビル3F、旧・名古屋税関港

1983年長野県生まれ、愛知県在住。  
有形である物、無形の身体、エネルギー、労働などをリサーチの主題とし、滞在制作を基軸に活動。地域、場所、時間特性を反映する彫刻、インスタレーション、空間表現を手掛ける。2018年3月から1年間、文化庁新進芸術家海外研修員として、メキシコ・メキシコシティ、オアハカに滞在。主な展覧会に、個展「ナンセンス、無体物、スタティック」(板室温泉大黒屋、栃木、2019年)、「Narratives of Exchange / Exchange of Narratives」(アルノス財団、メキシコシティ、メキシコ、2018年)、個展「Body Object Thing Matter」(Yutaka Kikutake Gallery、東京、2018年)、個展「Raw Material, Goods and Human Body」(iCAN、ジョグジャカルタ、インドネシア、2017年)などがある。また、第8回資生堂アートエッグ賞ノミネーション(2013)。  
[www.madokafuruhashi.com](http://www.madokafuruhashi.com)

山下拓也 / Takuya Yamashita

アーティスト



《刃物屋さん》《TOKONA-X》2021 撮影 | 藤井昌美

1985年三重県生まれ、愛知県在住。  
展示空間の壁や床にダイレクトに版画や彫刻の技法を用いて、消滅したサッカーチームや過去に開催されたオリンピックなどの役目を終えたマスコットたちをモチーフにした巨大な立体が登場するインスタレーションを制作。紙やベニヤなど薄く平たい素材を使って、キャラクターの表情的なイメージを強調しながら、迫力ある作品を展開している。また漫画家の温田庭子とのユニット「温田山」としても活動を行う。  
近年の主な個展に、「マスコットたちとカニエ・ウエストとタコス男、他」(Token Art Center、東京、2021年)、「熊と多分インディアンと市長が警察官と背中、他」(VOU GALLERY、京都、2020年)、主なグループ展にMAT Exhibition vol.9「名古屋 × ベナン同時開催展：名古屋文化発信局(名古屋本部)」(港まちポットラックビル、愛知、2021年)、「2020年度第3期コレクション展」(愛知県美術館、2020年)、「When It Waxes and Wanes」(vbkö、オーストリア・ウィーン、2020年、温田山での参加)。  
[takuya-yamashita.com](http://takuya-yamashita.com)

スタジオ滞在

2021年11月16日(火) -  
12月18日(土)

会場 | Minatomachi  
POTLUCK BUILDING 3F  
スタジオ滞在中の  
火曜-土曜(11:00-19:00)に限り、  
見学可(要予約) [\*11月23日(火・祝)を除く]  
予約受付  
E-mail | [info@mat-nagoya.jp](mailto:info@mat-nagoya.jp)  
TEL | 052-654-8911 (港まちづくり協議会)

オープンスタジオ

2021年12月21日(火) -  
12月25日(土)

会場 | Minatomachi  
POTLUCK BUILDING 3F、  
スーパーギャラリー  
時間 | 11:00-19:00(入場は閉館30分前まで)  
入場 | 無料  
\*新型コロナウイルスの感染状況によっては、変更や中止の可能性がります。会期中のイベントや最新情報については、ウェブサイト・SNSでお知らせします。

お問合せ・アクセス

Minatomachi  
POTLUCK BUILDING  
〒455-0037  
名古屋港区名港1-19-23  
TEL 052-654-8911  
FAX 052-654-8912  
E-MAIL [info@mat-nagoya.jp](mailto:info@mat-nagoya.jp)  
WEB [www.mat-nagoya.jp](http://www.mat-nagoya.jp)

\*名古屋市営地下鉄名港線「築地口駅」  
2番出口より徒歩1分

